

みよし

みんなで考えよう
三芳町の未来

議会報告会を開催しました

▶p.2

一般質問(13人が町政を問う)

▶p.8

議会だよりモニターを募集します

▶p.18

▶表紙写真に関する記事が14ページにあります。

議会だより発行月

2月

5月

8月

11月

次の発行は5月1日の予定です。

未来へつなげよう！

議会報告会を
開催しました

ふれあい座談会

期 日：10月26日 中央公民館
内 容：①平成30年度決算状況の報告
②各委員会からの活動報告
③意見交換会

参加者：13人

※10月25日に予定していた藤久保公民館での開催は、台風による大雨警報のため中止になりました。

三芳町議会では、議会基本条例に基づき、平成21年度から議会報告会を開催しています。今年度は10月26日に中央公民館において開催しました。

平成30年度決算の状況の報告、各委員会からの活動報告のあと質疑応答を行いました。その後3グループに分かれて、議員を交えて意見交換会が行われました。

11時半

20分間

50分間

30分間

9時半

閉会

各班からの発表

意見交換
グループごとに議員と参加者が意見交換を行いました。

質疑応答

議会運営委員会

議会広報広聴常任委員会

厚生文教常任委員会

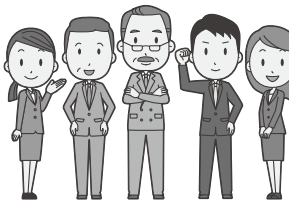
総務常任委員会

平成30年度決算審議状況

議会活動の報告

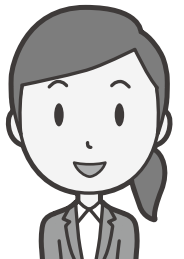
開会

議会報告会当日の流れ



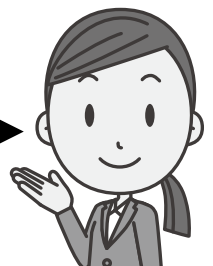
たくさんのご意見をお伺いすることができました。今後の議会活動に活かしていきます。ありがとうございました。

議会活動報告では、資料に沿って説明しました。



委員会	報 告
総務常任委員会	藤久保地域拠点施設基本構想についての協議 複合施設と公共交通についての視察
厚生文教常任委員会	町内小中学校の視察
議会広報広聴常任委員会	議会報告会の開催 議会だよりモニターの募集について
議会運営委員会	議会の運営、日程や委員会の構成などの協議 会議規則や条例等に関する事項の協議

意見交換では各グループに4人ずつ議員が加わり、参加者からの意見を伺いました。



たくさんのご意見を頂きありがとうございました。
中央公民館（10月26日開催）での様子をご紹介します。



主なご意見（抜粋）

- ライフバスの本数が少なく使いづらい。公共交通対策は他市とも協力してやらなくてはならないのではないか。
- 防災無線が聞きづらかった。災害時の情報発信が必要では。
- 道路の整備が遅れている。通学路は片側だけでも歩道が欲しい。
- 歩道がなく、道路幅も狭い。交差点の隅切りなど、出来ることからやって欲しい。
- 高齢者の集まるところに若い方を呼んで、世代間交流を図ってはどうか。
- 今後学校ではコミュニティースクールがすすめられていくが、学校と保護者・地域の関係がうまくいくことが大切。

令和元年
第6回 定例会
(11月29日～
12月17日)

令和元年第6回三芳町議会定例会が、11月29日より12月17日まで開かれました。本定例会では町長提出2件の報告があり、17件の議案（うち3件は撤回後再上程）、2件の諮問はすべて可決、採択され、2件は否決、不採択となりました。総員もしくは賛成多数で可決・同意しました。また、議員提案の意見書が3件提案され1件は採択され、2件は否決、不採択となりました。

国民健康保険税の最高限度額が
引き上げられます

◆国民健康保険税の一部を改正する条例

令和2年4月1日から、国民健康保険税（医療分）の最高限度額が「54万円」から「61万円」となります。

旧清掃工場跡地を石坂産業(株)に
貸し付けます

◆財産の貸し付け

公募により選定された事業者は賃借地を利用し、新たに温浴施設、休養施設、保養施設等の建設を予定しています。

補正予算

令和元年度一般会計補正予算
(第5号)

令和元年度一般会計補正予算
(第6号)

第5号で7億1950万3000円を追加、第6号で96万1000円を減額。歳入歳出総額を134億7636万6000円とする。

主なもの

- ・町制施行50周年記念事業 241万8000円
- ・庁舎地下1階空調機更新工事 202万4000円
- ・交通安全施設整備 1300万円
- ・中学生海外派遣事業（オランダ） 216万5360円
- ・（仮称）令和の森公園整備設計業務委託料 289万3000円

日本共産党

反
討
対
論

この改正は国民健康保険税賦課限度額の引き上げの改正である。所得が501万円～600万円の世帯から影響があり、程なく限度額に達してしまう中間層にとって負担となる値上げである。値上げにより制度の構造的問題の解決を図ろうとすれば、いずれ制度自体が行き詰まる恐れがある。



- 賃借物件
- ・所在地 三芳町大字上富1582番地
- ・地籍 事業用地 1万3967.70平方メートル
- 借地の期間
- ・土地の引き渡しのあった日から30年間
- 事業スケジュール（予定）
- ・準備工事
- 令和2年1月～令和3年12月



文化会館と体育施設の 指定管理者が決まりました

◆指定管理者の指定

○文化会館（コピスみよし）

・指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス

・期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日

・契約金額 3億8520万円（5年間）

○総合体育館・運動公園グラウンド・運動公園テニスコート・竹間沢テニスコート・弓道場・多目的広場

・指定管理者 セイカスポーツセンター・クリーン工房共同事業体

・期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日

・契約金額 3億1700万円（5年間）



町長・副町長・教育長の 期末手当と職員給与を引き上げへ

◆町長及び副町長の給与等に関する条例の一部改正

◆教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正

・期末手当を0.05か月分引き上げる。

日本共産党

反 討 対 論

職員給与等の増額は人事院勧告に準拠して決められるもので賛成。しかし特別職である町長、副町長の期末手当の引き上げは、人事院勧告に伴うものではない。この間の消費税10%への増税や公共料金の値上げは、住民の大きな負担となっており町民の理解が得られるとは思えない。

◆職員の給与に関する条例の一部改正

・人事院勧告に伴い、給与と諸手当を引き上げる。

給与改定率（諸手当含む）

	行政職	技能労務職
改定前の平均給与	359,488円	365,494円
改定後の平均給与	359,916円	365,494円
改定額	428円	0円
改定率	0.12%	0.00%

◆（仮称）令和の森公園整備計画始まる

総合運動公園グラウンド周辺に遊歩道がオープン。せせらぎ水辺整備工事の設計費が計上されました。



・上富・藤久保平地林整備業務委託料 356万円

・富士塚土地区画整理事業清算金 3324万7000円

同意しました

任期満了に伴う委員の選任について同意しました。

人権擁護委員

仲野忠男氏
鹿島武雄氏

三芳町第5次総合計画後期基本計画及び 三芳町都市計画マスタープラン特別委員会



鈴木 淳



久保 健二



細谷 光弘



内藤美佐子



小松 伸介



本名 洋



副委員長
吉村美津子



委員長
山口 正史

都市計画マスタープランとは？

都市計画マスタープランは、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として定めるもので、市町村の創意工夫により住民の意見を反映しながら策定する計画です。

町の最上位計画である総合計画に基づいて、その都市基盤整備に関する部分を20年間という長期的視野に立って策定します。

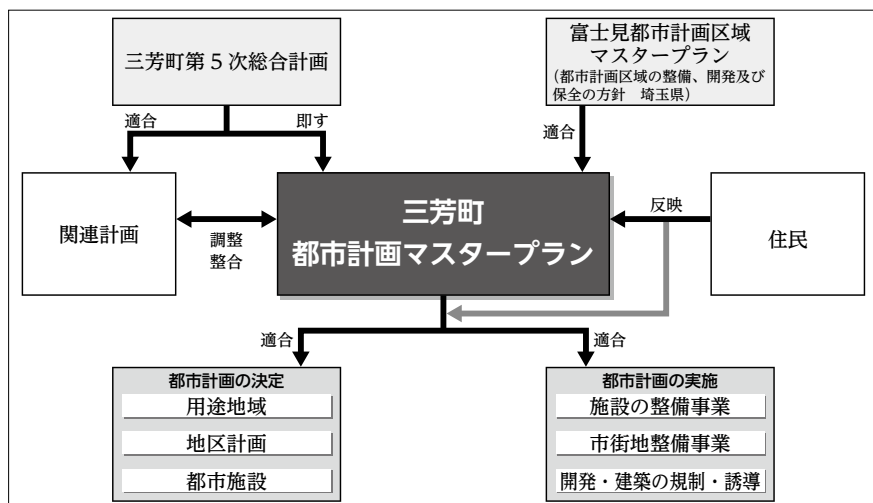
現在の都市計画マスタープランは平成12年に策定され、今年度でその期限を迎えることから、次の20年間の町の都市基盤整備の指針となる新しい都市計画マスタープランが策定することになりました。

総合計画って何？

総合計画は、地方自治体の全ての計画の基本となり、地域づくりの最上位に位置づけられる計画です。

三芳町では、平成28年度から8年間の総合計画として「未来につなぐひとまちみどり 誇れる町」を目指し、「三芳町第5次総合計画」を新たな町づくりの指針として策定しています。

後半の4年間を迎える前に、社会情勢や景気動向に合わせた計画とするために、今回その見直しが行われました。



町の都市計画に係わる事業は、最上位計画である「三芳町総合計画」に即して策定される「三芳町都市計画マスタープラン」に適合する形で計画されています。福祉・教育などに係わる事業も、同様に策定される「三芳町健康づくり推進計画」や「三芳町教育振興基本計画」に適合するように計画され、実施される形となっています。

特別委員会設置の経緯

議案として上程された「三芳町第5次総合計画後期基本計画」と「三芳町都市計画マスタープラン」の審議方法を全員協議会にて協議したところ、三芳町第5次総合計画前期基本計画を審議する際も特別委員会を設置するという経緯も踏まえ、今回は各会派から2名の代表者を出して特別委員会で審議した方が良いとの結論に至り、設置されました。

三芳町第5次総合計画後期基本計画の審査経緯

12月9日に開催された特別委員会内で委員から出た主な質疑

- SDGs（三芳町も推進している「持続可能な開発目標」）の説明は掲載しないのか
- 各施策の達成目標が変更されているが、当初の目標値を維持するべきではないか
- 健康増進・保健医療の達成目標の項目について、前期計画と全く変わってしまった理由は
- 保険・年金について、一般会計法定外繰入金については、政策的に減らしていくということか
- 既存のバス路線の再編を進めるとあるが、現在中の路線以外にも再編を進めていくのか
- 保存樹林の指定の目標値が前期計画の7.5haから5haに変更されたがその理由は
審査終了後の各委員での自由討議の結果、委員会としての意見は以下のようにまとまりました。

1. 各政策に関する計画の達成目標の数値が現実的なものや理想・希望的なものが混在している。また、他の計画に同様の達成目標が設定されている場合もその数値と同期するか統一されていない。目標値の数値設定の考え方を統一すべき。
2. 例えば不登校発生割合の目標値については、現状値が前期計画よりも悪化しているにもかかわらず、令和5年度の目標値が変わらず今後の施策も記載されてい

い。目標値を設定した施策は、今後の施策を明記すべき。
採決の結果、「賛成多数」で原案どおり「可決すべきもの」と決定いたしました。

賛
成
討
論

公明党

後期基本計画策定において各項目にSDGsの17のアイコンがそれぞれの課題に合わせ掲載された。

これは、三芳町が誰一人取り残さないSDGsのまちづくりを今後しっかりと進めていくという力強い意思表示ととらえることができる。その姿勢を評価し賛成とする。

反
対
討
論

日本共産党

格差と貧困、孤立、地球温暖化による災害の多発といった今日的課題に十分対応した計画になっていない。企業誘致よりも現在三芳町にある事業者や起業の支援。商店街の活性化や空き家利用などで町の活性化を図ること。都市農業と三富の景観を守ることを重視すべきであり反対する。

三芳町都市計画マスタープランの審査経緯

都市計画マスタープランの審査では、新しく導入した「交通軸」に指定された町道幹線15号線について、今後の整備対象の道路対象から記載漏れされているといった正誤表では対応しきれないミスもあり、議案第58号としての同プランは取下げ、修正点を直したものを議案第74号として再上程することになりました。特別委員会も12月10日の予定日だけでは終了できず、12月17日の最終日に再上程された後、再度開催される運びとなりました。

審査終了後の自由討議を経てまとまった委員会の意見です。

1. 計画全体でまちづくりのビジョンが明確でなく、町の都市計画の方向性が見えづらい。実現性のある計画としたいという意図は理解できるが、現状の課題を解決するための計画だけでなく、町の将来像がはっきり描けるように整備計画の目標値を設定するなど、しっかりとしたビジョンを設定し、施策を進めるべきである。
2. 今回の計画では、拠点と交通軸という考え方を導入したが、交通軸については各担当課でとらえ方が統一されていないと感じた。また、設定された道路を交通軸とするのであれば、道路幅員や歩道整備等の交通安全対策に関する計画が必要である。

また、少数意見として

- 産業誘致地区の範囲や工業系土地利用の範囲は再検討すべき
- 住宅系将来検討区域は都市農業や景観の観点から慎重に検討する事
- 竹間沢・大井・勝瀬通り線を国道463号に接続する場合は、住民の声を尊重し検討すること
- 緑や景観の保全、緑化推進は計画どおりすすめることなどがありました。

採決の結果、「賛成多数」で原案どおり「可決すべきもの」と決定いたしました。

反
対
討
論

日本共産党

浦和・所沢街道（国道463号）から藤久保地域を通る竹間沢・大井・勝瀬通り線の都市計画道路は、車の交通量が増えるため問題である。畑地の通西区域の開発計画などより優先すべきは、緑の保全や歩道・自転車道の整備、町内小型循環バスの導入、福祉向上のまちづくりである。



工期平準化で工事担い手育成を!

公明党
内藤美佐子
ないとう み さ こ



問 公共工事が4月から6月までに少なく、年度末に集中することは、業者の安定経営を脅かしている。工期の平準化が必要では。

答 本町の平準化は数値的には効果を確認している。

問 債務負担行為の積極的な活用で年度をまたぐ工期で発注できるようにしては。

答 今後の活用については、発注所管課と共に検討する。

問 フレックス工期契約制度等を活用して柔軟な工期設定をしてはどうか。

答 現在は制度の活用はしていないが、研究をして更なる工期平準化に取り組む。

住民の安心安全を

問 2年前大火災を起こした流通倉庫が再建工事 중이다。事業再開スケジュールは。

答 令和2年2月に工事終了予定。その後事業再開。

問 周辺住民参加の施設内覧会が開催できないか。

答 再開の相談時点から要望していた。内覧会は3月ぐらいになると思う。

問 大型トラック等の施設入場の為の引き込み道路は。

答 待機場所が確保される予定。入口も時間帯で閉鎖されないよう協議中だ。

問 県道である接道の幅員が、大型車が通行するには狭い。拡幅できないか。

答 現在拡幅の整備計画はないが、拡幅を望む声があることを県へ伝える。

問 令和2年10月よりロタウイルスワクチンが定期接種となるが、町の対応は。

答 実施に向け準備する。

問 18歳までの医療費無償化推進について、入院費だけでも先に実施できないか。

答 先ずは入院費無償化を償還払いで考える。

問 町長の見解は。

答 2市1町で足並みを揃え、同時に実施したい。



生命を守る更なる防災対策を!

公明党
桃園典子
もも その のり こ



問 災害時の緊急情報を伝達する上で、高齢の方や一人暮らし世帯への支援工夫していることは。

答 災害時要援護者支援プランとして、町の回覧での周知、行政区や民生委員等で対象の方に声かけし希望する方への支援をしている。現在1570名が登録され56名の方の個別計画を策定中である。

問 防災行政無線電話応答サービスは、防災行政無線の内容を電話で確認出来るシステムだが、更なる周知のために工夫してはどうか。

答 令和2年に配布予定の三芳町ハザードマップや広報への記載、サロン、老人会など人の集まる所へ出向いて周知していきたい。

問 ペットの家族化が進む状況の中、避難所へのペットが同行避難できる環境作りを進めるべきではないか。

答 今後アレルギー対応や場所の確保など様々な課題について協議し、出来るだけ早く進めていきたい。

文化財について

問 文化財収蔵庫の借り上げ料はいくらか。

答 平成22年より始まり令和元年度は年間339万円。

問 町所有の収蔵庫設置は。

答 費用面が難しい為、今後は公共施設の空きスペースの活用も考えていきたい。

問 文化財を小学校に配置し授業等で活用しては。

答 文化財の保存、学習で活用、地域交流で活用と3つの利点があると感じる。今後参考にしていきたい。

問 子育て支援について

問 経済、家庭環境、発達課題等の様々な相談窓口を一つにし、子どもや家庭への支援を充実させては。

答 各課や諸機関と調整を取りつつ、他の先進事例も町に取り入れて行きたい。





上富地域にキメ細やかな政策を!



輝
落合 信夫
おち あい のぶ お

問 上富第1区交差点付近やガソリンスタンド前は大雨時に冠水し、通行できなくなるが対策は。

答 周辺の集水樹の蓋にゴミや落ち葉が詰まることの原因と考えられる。今後台風や大雨の前には現場を確認する。

問 幹線10号線にグリーンベルトや安全ポールといった交通安全対策がない。設置できないか。

答 現地の交通量調査をし、必要であるならば警察と協議をして対応を検討したい。

問 同じく幹線10号線と11号線の交差点には横断歩道もなく危険だが、対策は。

答 横断歩道の設置は警察が行う。今後必要性を含め警察と協議する。

問 旧島田家住宅脇の火の見櫓に子どもたちが登って危険。撤去も含めた対策は。

答 火の見櫓は現在使用されていないことを確認している。危険除去のため、まずは登れないよう対策をし、今後は地域の方や関係各所と検討をしたい。

問 上富地区に汚水の下水本管がない。敷設の予定は。

答 上富地区では一部の住宅密集地区を除き、合併処理浄化槽を通し、雨水管等で処理している。下水道事業の経営面からも汚水管を併設することは難しい。

問 人口減少の時代を迎え、上富地区は過疎化の恐れもある。少しずつでも敷設していけないのか。

答 下水道が未整備な地区もあるので、地域の状況や整備の時期を含めて今後検討していきたい。

問 町内には多福寺の所有地が広くあるが、町が公園用地などのために借り受けている箇所はあるか。

答 上富第3区集会所用地は借りている。(仮称)多福寺森の公園は検討をしたが、実現には至っていない。



危険除去対策が必要な火の見櫓



女性が輝く社会づくりのために



輝
菊地 浩二
きく ち こう じ

問 町長は学童保育の需要や必要性をどのように認識しているか。

答 三芳町子育て支援に関するアンケート調査結果でも学童保育に関する意見が多かった。終わる時間が早い、保育時間を長くといった要望があった。大きな課題と認識している。

問 小一の壁を町長はどのように認識しているか。

答 お迎えの時間が早くなるので混乱を来している。自治体で出来ることをしっかりと対応していきたい。

問 学童保育室は保育園よりもお迎えの時間が早いのが、保護者の希望により同等とすることはどうか。

答 終了時間の変更は職員体制の確保など課題はあるが、町全体の課題として検討する必要がある。

問 お迎えの時間に合わない場合の対応は。

答 複数のお迎えの手段が提出されているが、間に合わない場合は連絡をもらい、お迎えが来るまで複数の職員が残り対応し保育を行っている。

問 子育てと仕事の両立のため更なる公の支援が必要では。

答 アンケート調査の結果を基に検討したい。

バス路線の再編と新交通補助事業

問 7番線廃線の申請は。

答 新路線は令和2年5月をメドに準備。7番線は10月中旬に廃線の申請をした。

問 新路線は3月開始予定だった。遅れる理由は。

答 スクールゾーンの見直しが行われているため。

問 まちづくり懇話会で話のあった(仮称)元氣お出かけ応援事業(デマンド型タクシー補助事業)は令和2年4月から実施か。

答 検討の結果、この事業は実施しないこととした。





未来の三芳町を考えた事業展開を

輝 鈴木 淳
すずき じゅん



問 本業の傍ら、地域の安心安全を守ってくれる消防団。各分団の車庫は老朽化が進んでいる。町の車庫は建替え予定から改修に変更されたが、その理由は？

答 財政面、建替えに必要な場所、期間の問題による。

問 消防団の活動環境充実のために、改修を建替えに戻すことはできないのか？

答 建替え・更新・改修といった選択肢の中で今回は改修とさせてもらった。できるだけ消防団の要望を取り入れた改修にするが、建替えはやはり難しい。

藤久保地域拠点の複合化について

問 事業総額60億円といわれる藤久保地域拠点施設基本計画策定に入った理由は？

答 きつかけは藤久保小学校が更新時期を迎えること。ただ、以前より庁舎内で周辺の公共施設の複合化は検討されていた。

問 複合化することによる財政的なメリットは？

答 複合化により施設規模を抑えられる等、維持管理費用を抑えられる。

問 どの程度費用を削減できる？

きると見込んでいないのか？

答 その額は出せていない。

問 小学校プールの設置を検討するため、令和2年度も児童による民間プールでの授業を試行するはずだが、計画の配置図・平面図の素案はその前に策定することのこと。矛盾していないか？

答 事業者側からもプール利用に問題はないとの返事をもたらしていることなどから、プールを設置しない方向で計画を立てる。

問 プールは設置しない方針で、学校側には試行の結果を問わず、その方針に従わせるということか？

答 低学年児はプールへの移動に時間がかかるので、その点について試行する。



老朽化が進む消防団車庫（昭和59年築）



犬のフン放置への具体的な対策を

公明党
小松 伸介
こまつ しんすけ



問 犬のフンが道路に放置された場合の処理義務者は？

答 不法投棄と同じ取扱いとなり、環境課で対応する。

問 対策としてイエローチョーク作戦を再検討しては？

答 環境美化推進委員に賛同頂き試験的に行っている。

問 フン放置被害の多い箇所へ防犯カメラ設置検討は？

答 通行人のプライバシーの問題もあるが検討する。

問 フン放置者に対して条例等での厳罰化が必要では？

答 飼い主のモラルに訴えるのが重要と考える。啓発強化等を中心に進めていく。

問 違法行為である旨を強く訴える看板を作成しては？

答 そうした看板も含めて、警察と協議していく。

問 町長の見解は？

答 もう一步対策を進めていく必要がある。町としてしっかりと対応していきたい。

問 動物殺処分ゼロに向け、命の大切さを学ぶ、どうぶつ愛護教室等の開催検討は？

答 今後検討していきたい。

問 不妊対策の検討状況は？

答 町内に愛護団体がなく、県が進める事業実施が困難。まずは団体の設立を進める。

商工業の発展について

問 商工会の会員数は？

答 令和元年737事業所。

問 商工会から町へ要望は？

答 経営者向けの経営支援の中で就業規則の導入支援の要望がある。迅速な情報取得が出来るよう努める。

問 町内企業への支援策は？

答 セーフティネット保証制度、小口融資斡旋や不況対策融資斡旋制度がある。

問 久喜市は小規模事業者に販路開拓のため補助を実施している。当町で検討は？

答 有効な施策だが財政の課題もある。参考としたい。

問 久喜市は中小企業・小規模企業振興基本条例を制定した。当町も検討しては？

答 策定に向け研究したい。





児童・生徒の安全を第一に考える

輝
久保 健二
くぼ けんじ



問 令和元年7月に三芳中学校PTAの方より、幹線19号線の安全対策の要望が提出されたが、どのような対応、対策をしたのか。

答 スクールゾーン啓発の際に幹線19号線の状況も確認した。周辺道路の全体の流れ、代替えの通学路はないか、道路拡幅や歩道整備等ハード面での対策が出来ないかなどの確認をする。また地域住民の同意を取りながら、交通規制を行うなど様々な方面からの検証が必要なので検討したい。

問 今回の幹線5号線のスクールゾーン解除の話は、この要望に対し逆行しているのではないか。危険のリスクが大きくなるのが分かっていながら、この時期に解除する理由は何故なのか。

答 通学する児童の安全の確保を考えると、段階を踏む必要があるが、幹線19号線のスクールゾーンの設置に向け進めていきたい。

問 幹線5号線のスクールゾーンの解除だが、歩道が整備され、設置後の安全の確認が保証されてから解除の話を出すべき。整備が終

わっていない時期に出してくる話ではないのでは。

答 警察からは幹線5号線と17号線はセットであると言われている。この路線の解除が出来ないとライフバスを運行させることができないと言われている。令和2年5月に新路線の運行を開始したいという担当課の意向もあり早めに説明した。

問 友和会住宅西端の路地を入った所の住民から、今回の住宅建替えに合わせた前面道路の拡幅への協力を町に申し出がされている。この機会に道路幅員を広げるべきでないか。

答 地権者の方に、理解を頂けるようであれば、しっかり進めていきたい。



スクールゾーンの見直しに対し、安全対策の必要性を提案



通学路にある家屋の建替の際の道路拡幅、町の土地との換地を提案



安心して暮らせる町へ

三芳みらい
林 善美
はやし よしみ



問 令和元年の台風15号で千葉県内の送電線の鉄塔が倒壊した。当町での設置状況、点検の方法は。

答 57基すべてが一般的な四角鉄塔である。指定公共機関である東京電力が保安規定により、年1回の点検と日頃からの巡視を行っており、事故の防止に努めている。不都合があれば連絡が入る体制が整っている。

問 災害が発生した場合、事業所等との連携体制は。

答 しっかりと連携体制ができており、県・消防・自衛隊から職員が派遣された実績もある。

学童保育室について

問 学童保育室の果たす役割とは。

答 放課後の児童の健全育成を図るため、児童の保育その他、保護者の就労支援という役割を果たす事業となっている。

問 短時間預かり等新たな利用料金の設定や、延長利用制度の検討はできないか。

答 受益者負担の原則を踏まえて、開室の利用時間を変更する際に改めて検討する。

問 運営を外部に委託しては。

答 現段階では検討していない。求められるサービスの多様化等の課題を整理する中で、解決するための方策として検討していく。

幼保小連携について

問 幼保小連携の考え方は。

答 子どもの発達や学びの連続性を視野に入れ、小学校への円滑な接続を図るため教育活動の連携や相互交流を推進している。

問 令和元年度に行った相互交流の内容は。

答 連絡協議会、数園の園児の校内見学、職員相互の情報共有、運動会での未就学児の競技への参加がある。



北松原第3公園脇の鉄塔



教職員のいじめ防止について

三芳みらい
細田三恵
ほそだみつえ

問 町職員のいじめやハラスメントについては一応の体制はあるが、小中学校の教員の体制は。

答 「三芳町立学校におけるパワー・ハラスメントの防止等に関する要綱」等を定め校長会により未然防止と風通しの良い職場に努めている。校内に男女別の相談委員を設けている。

問 学校内ではなく、安心して相談できる相談窓口は。

答 校外では指導主事や教育相談室を設定している。また、令和元年4月より埼玉県教育委員会総務課内にコンプライアンス相談ホットラインが開設された。

問 「ハラスメント」を積極的に防止する為に町職員や教員向けの「ハラスメント防止条例」が必要では。

答 町職員としては、コンプライアンス条例施行規則の不祥事件の項目に「ハラスメント」について規定しているのが現状ではない。

問 研修会を行っているか。

答 県教育委員会では不祥事根絶アクションプログラ

ムを提示し勤務年数に応じた研修、又は倫理確立委員会で様々な事例の研修開催。

環境整備について

問 町内の冠水危険箇所は。

答 住宅街や道路等40箇所あり集中しパトロール実施。

問 土のうの要請はどの地域で何袋要請があったか。

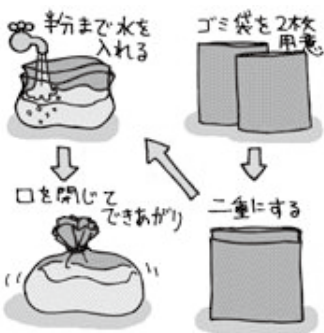
答 上富314袋、北永井209袋、藤久保372袋、竹間沢103袋、みよし台30袋。

問 使用後の土のうを引き取りをしてはどうか。

答 なるべく自宅で保管して貰いたい。

問 水で膨らむ水のう袋を取り入れては。

答 費用面から考えるとやはり町は土のうを使用。



水のうの活用



安全な介護サービスの取組みを

日本共産党
増田磨美
ますだますみ

問 ケアマネジャーの仕事は命に直結するが指導は。

答 継続して指導していく。

問 訪問介護での相談等は1件との事だが20年の間に1件は不自然。報告の義務をしっかりと周知すべきでは。

答 報告義務の所在もあり検討も必要だが安全確保のために調査研究を進めたい。

問 高齢者の一人暮らしや認知症の利用者にサービスが適正に行われているか。

答 一件一件の把握は難しい。プランに基づき適正に行われていると思ってい

問 令和元年10月12日の台風時、3つの公民館が自主避難所となった。高齢者等から近くの集会所を開けてほしかったとの声があるが。

答 建物の構造を考え公民館にした。区長との連携を図り集会所の開設も考える。

問 災害時避難支援のためにも一人暮らしの高齢者の把握は必要では。

答 今後も諸機関と地域連携を図り一人暮らしの高齢

者支援・見守りに努める。

町民の使い易い施設を

問 公共施設マネジメントの中に、施設ごとに大規模修繕をした場合の試算があるが、予定されている9施設の合計金額に比べ、藤久保地域拠点施設を複合化施設として更新した場合は、大幅に金額が増加する。双方を示した上で町民に計画を提案していくのが基本姿勢だと思うがどうか。

答 町は、複合施設を中心に検討しているが、住民説明会での説明も考えていく。

問 将来に及ぶ重要な案件なので、時間をかけて急がず慎重に協議すべきでは。

答 大事な計画なので丁寧に住民説明会等をしていきたい。計画通りに進めているが計画はあくまでも計画なので住民との合意形成を大事にしていきたい。



子育て支援センターと藤久保児童館



学校給食を含む学校教育について

日本共産党
吉村美津子
よしむらみ つこ



問 学校給食の実際に食べる時間を「もっとほしい」「ちよつど良い」等といった子どもの声を5年前から聞いてきた。令和2年4月から実質の食べる時間を25分間確保できるようにしてはどうか。

答 学校と相談する。

問 不登校問題解決の取組みを行っている川崎市の「フリースペースえん」を視察研修してはどうか。

答 調査し、考えていく。

一年単位の变形労働時間制は、やめるべき

問 教員の長時間労働を強いる一年単位の变形労働時間制はやめるべきだ。平成28年の国の教員勤務実態調査では、長時間労働や休日出勤の恒常化、精神疾患による休職や過労死が後をたたないとのこと。一日8時間労働の原則を破るものであり、過労死を増やす同制度は、やめるべきだ。県へ条例をつくらぬように要請すべきでは。

答 国・県の動向を見ながら適正に判断をしたい。

窓口業務について

問 町の職員は、住民から信頼されて5年以上窓口業務を行ってきた。それを民間に委託することを考えているようだがやめるべきだ。情報の漏えいや民間委託によって、公的証明書が犯罪に悪用されたりすれば、当然町が賠償責任を負い負担することになる。このような危険がある。安全第一で、今まで通り職員で行うべきでは。

答 費用対効果を見極めながら検討していきたい。

福祉を町長に問う

問 18歳までの医療費無料化を実施すべきでは。

答 富士見市、ふじみ野市と協議をしていきたい。



定例会後の対応と公園の現状

三芳みらい
細谷光弘
ほそや みつひろ



過去の定例会の後の対応・計画は

問 幹線15号線は。

答 幹線5号線から西270m区間は、センターラインの消去・路肩への外側や文字表示・破線でのハンプの設置・北側グリーンベルトの設置工事は令和元年10月末に完了、残りの部分は年内に工事完了予定である。

問 台風19号等の通過に際して環境課として、役場近くの有価物収集業者に、指導・対策はしたのか。

答 10月17日に県と合同でパトロールし、積み上げている有価物が飛散しないよう、極力高さを抑える等の指導をした。

問 高さが低くなった事も無いようだが、台風で山積みされたアルミ等が飛散したら大変な事になる。現在の法律では規制出来ないが、『綾瀬市再生資源物の屋外保管に関する条例』を参考に条例を制定すべきと思うが、町長はどう考えるか。

答 町でも同様に懸念している。今の条例・法律では規制できないので、提言のあった他市の条例を研究して今後、考えていきたい。

三芳町の公園について

問 公園の総数と総面積は。

答 63箇所約89843㎡。

問 遊具数は。

答 14種類163基。

問 住民一人当たりの公園面積は。

答 2.35㎡となっている。

問 県平均6.38㎡の3分の1しかなく、遊具の数も非常に少ない。住民が望む公園を町長はどう考えるか。

答 住民の皆さんからは大きな公園が無いので欲しいとの要望が多い。(仮称)令和の森公園を数年掛けて、子供からお年寄りまで憩えるような町のシンボルとなる公園にしていきたい。



幹線15号線「対応前」



幹線15号線「対応後」



障がい者との共生社会の構築を

日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし



問 本町職員の障がい者雇用率は以前2・57%ということだったが、現在法定雇用率2・5%を満たしているか。

答 令和元年6月1日現在2・65%となっている。

問 令和3年度からは2・6%が求められるが。

答 令和2年度から障がい者雇用の計画等を定めて実施していく必要がある。

問 重度障がい者の自宅就労支援制度を設けては。

答 重度障がいの方に対しても就労の機会を与えていくことが共生社会の課題であると認識している。

問 障がい児も一緒に遊べるような公園が都内などで造られつつあるが本町でも必要では。

答 段々社会は変わりつつある。先進事例を参考に調査研究していきたい。

問 災害時に備えて医療的ケア児・者への自家発電機購入補助を考えては。

答 使用環境や機能、代替機器などの研究と利用者の声を確認する必要がある。

問 障がい者が車いすで行ける道路となっていないのでは。

答 車いす利用者が安心安全

全に通行できる道路の延伸に努めたい。

お悔やみコーナーの設置について

問 ご家族が亡くなられたときの手続きが非常に手間が掛かる。手続きのワンストップ窓口を設置しては。

答 ご遺族の方が困らないよう親切丁寧に対応している。

放射線副読本について

問 全国の学校で配布されている「放射線副読本」の内容が問題になっているが。

答 内容については各学校、問題無いという報告である。



障がい児も遊べる公園

意見書

「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書について

常磐自動車道で、男性が執拗なあおり運転をうけた上、顔を殴られるという事件が発生した。

今、極めて悪質・危険な運転に対して厳正なる対処を望む声が高まっている。

社会問題化しているあおり運転の根絶に向け、安全・安心な交通社会を構築するため、早急なる法整備を求める。

提出先 国関係機関

表紙写真のご紹介

令和元年11月30日に三芳町役場7階の議場で4回目子ども議会が開催されました。

今回のテーマは「みんなで考えよう 三芳町の未来」。

三芳東中学校2年生の祝田莉歩議長の進行のもと、町内各小中学校から選ばれた議員が「障がい者や高齢者に対する福祉」「町の公園」「保育士の労働環境」「図書館」などについて質問しました。

三芳町の未来を担っていく子どもたちからの質問や意見を生かし、みんなが安心して勉学に取り組めるよう、町をさらに住みやすくしていく責任が大人にはあります。

私たち議員も三芳町発展のため、より一層の努力をしていかななくてはならない、と感じた一日でした。



議員の賛否公開します



◀ 詳細については議会ウェブサイトをご覧ください。

○賛成 ×反対

令和元年第6回定例会 審議結果	議員名	三芳みらい					日本共産党			公明党		輝				
		井田和宏	細田三恵	林善美	細合光弘	山口正史	吉村美津子	増田慶美	本名洋	小松伸介	桃園典子	内藤美佐子	久保健二	鈴木淳	菊地浩二	落合信夫
報告																
専決処分事項の報告について（成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整理に関する条例）		報告のみ														
専決処分事項の報告について（不正競争防止法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例）		報告のみ														
条例																
三芳町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
三芳町水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
富士塚土地区画整理事業の換地処分による公の施設の地番変更に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
三芳町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他の議案																
財産の貸付けについて	原案可決	議長	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について（文化会館）	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について（体育施設）	原案可決	議長	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三芳町道路線の認定について	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意として 答申	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意として 答申	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度三芳町下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度三芳町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度三芳町一般会計補正予算（第5号）	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度三芳町一般会計補正予算（第6号）	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計画																
三芳町第5次総合計画後期基本計画について	原案可決	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
三芳町都市計画マスタープランについて	原案可決	議長	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
陳情・要望																
陳情書（1. 空き家対策の推進に関する件、2. 市町村公的審議会等委員への公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会会員の登用に関する件、3. 都市計画・建築基準法に基づく制限の見直しの件）		配布のみ														
意見書																
「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書について	原案可決	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地球温暖化防止対策の強化を求める意見書について	否決	議長	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
人や生態系への影響が懸念されるネオニコチノイド系農薬の調査・研究と規制を求める意見書について	否決	議長	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×

委員会活動報告

総務常任委員会

日程 令和元年 11月 11日～12日

11日

視察先 埼玉県吉川市立美南小学校

視察目的 公共施設・学校の複合化について

12日

視察先 長野県安曇野市

長野県塩尻市

視察目的 公共交通について

公共施設の複合化について



初日に視察した「吉川市立美南小学校」は、市内の区画整理事業に伴う新駅設置や周辺の大規模住宅開発による人口の増加に伴い新しく建設された小学校です。子育て支援センターや公民館施設と複合化することで、子供たちが就学前から小学校に馴染みが出る、高齢者と児童が交流をはかれる地域コミュニティの場として社会性の向上につながるといった効果が出ているとのことでした。

また、プールを屋上に建設することで敷地の有効利用だけでなく、災害時にはプールにたまった水を活用するなどの対策も考えられた造りとなっています。セキュリティに関しては防犯カメラのみの対応でしたが、三芳町が現在検討している複合施設には民間の施設を入れる計画もあることから、複合施設内の往来を出来なくすとか、セキュリティ面の強化が必要と感じられました。



2日目の、長野県安曇野市の新公共交通システム「あづみん」の特徴として、時間帯により運行形態を変えている点が挙げられます。利用者が多い朝、夕の時間帯は定時定路線としてコミュニティバス、利用者の比較的少ない時間帯はデマンド運行させることで、公共交通に対しての市民の不満を解消しています。

また乗車定員 10人程度の小さい車両で運行することで、市内のどこへでも送り届けられる、ドア to ドアの送迎を可能にしています。他の利用者との乗合場所などを含めたルート設定は、オペレーターの技量で丁寧な案内が出来ていることで、利用者の不安の解消、安心して利用できる仕組みを構築していました。



2日目、2か所目の長野県塩尻市「えんぱーく」は、建設にあたり「中心市街地の活性化」「市立図書館の在り方」をテーマに掲げ、郊外型ショッピングセンターの建設や、駅の移転等で賑わいをなくした商店街の活性化を取り戻すため、また図書館の利便性の向上を目的として建設されました。

空間をコンセプトに造られ、多くの会議室や壁をフリースペースとして貸出しています。

厚生文教常任委員会



当委員会は、10月18日、今年度トイレ洋式化の工事が終了した唐沢小学校の新トイレと、竹間沢の歴史民俗資料館近くにある文化財が収蔵されている倉庫を視察しました。

唐沢小学校の新しく設置された洋式・乾式床のトイレは、明るくきれいで、子供たちにも大変喜ばれていることを確認しました。委員からは、改修工事の細かい部分への指摘や、掃除の方法、いつまでもきれいに使っていただきたい等の意見がありました。当委員会としては、町内全小中学校のトイレ洋式化改修工事を早急に進めるよう町に対し要望しました。

文化財収蔵庫では、保管されている文化財の量が思った以上に多いなか、丁寧に収蔵・管理されていることを確認しました。委員からは、倉庫賃借料として年間336万円がこれまで9年間支払われていることで、経費の面や収蔵文化財の活用、今後の収蔵場所について意見がありました。当委員会としては、文化財の保管について、今後の保管場所や経常経費について、町に考慮いただくよう要望しました。

11月5日、6日に県外への所管事務調査を実施しました。11月5日には、長野県松本市の地区福祉ひろば事業について、6日には、東京都荒川区の図書館等の複合施設「ゆいの森あらかわ」を視察しました。

松本市の地区福祉ひろば事業とは、地域を単位としたコミュニティの場として各地域に36の地区福祉ひろばが設置され、高齢者だけでなく全世代が出会い・活動できる場として、松本市の福祉向上や健康寿命延伸のための事業が行われています。運営の主体は、地区福祉ひろば事業推進協議会で、町会長や民生児童委員、子

供会育成会、高齢者クラブ、ボランティアで構成され、市の福祉計画課担当者なども関わり、市が委嘱した非常勤職員のコーディネーターが各ひろばの運営に携わっています。三芳町では、14行政区に地区社会福祉協議会が立ち上がりつつあり、今後福祉や活動の場として期待するものではありませんが、地域住民への認知度や行政区への加入世帯減少など、さまざま課題も多いです。三芳町の住民が生き生きと暮らせる仕組みづくりとして、松本市の「地区福祉ひろば」事業は大変参考になりました。

東京都荒川区の複合施設「ゆいの森あらかわ」は、荒川区の図書館、作家・吉村昭記念文学館、そして子供広場の3つの機能を備えた新しい複合施設で、運営は荒川区が直営で行っています。

3つの施設が、壁などで仕切られず、飲食や会話も可能な場所や静寂を望む方々には学習室等があり、気軽に集える場所として区民に大変喜ばれる施設となっています。

本町では藤久保地域拠点施設は複合化でとの方向性が示されていますが「ゆいの森あらかわ」のように同種同様の事業で複合化するのは相乗効果が得られる可能性も高く効果的ですが、財政面や運営形態など解決されなければならない課題も多いです。「ゆいの森あらかわ」の施設概要・運営方法等参考になりました。



議会だよりモニター を募集します

「用語が難しくてわかりづらい」
「レイアウトが見づらい」といった、
読みにくい議会だより

議会だよりモニターの
ご意見ご提案を参考に



皆さんに愛される
議会だよりに♪

募 集 概 要

三芳町議会が発行する「議会だより」の企画及び編集等について、町民の方から意見や要望を聴取することにより、記事内容の充実を図ることを目的として議会だよりモニターを募集します。

モニターの内容

- 議会だより及び議会の広報・広聴活動等についての意見交換。
- アンケート調査等への協力。(年4回)
- モニター会議への出席。(年3回程度)

モニター応募の要件

町内に在住、在勤、在学し、議会が行う広報・広聴活動に深い関心を持ち、公正な社会的見識を有する18歳以上の方。

定員

8名

任期

令和3年3月31日まで

応募方法

三芳町議会ウェブサイト及び議会事務局にある応募用紙にご記入の上、議会事務局にお持ちいただくか、**電子メール**または**FAX**でご応募ください。

なお、応募の締め切りは**令和2年3月31日(火)**です。

議会事務局

TEL : 049-258-0019 内(601)

FAX : 049-274-1057

Mail : gikai@town.saitama-miyoshi.lg.jp

議員と話してみませんか？

ふれあい座談会（議会報告会）を 開催します。

開催日時・場所

4月25日（土）午前10時～ 藤久保公民館
4月26日（日）午前10時～ 竹間沢公民館
午後2時～ 中央公民館

三芳町のことについて、日ごろ感じている疑問やご意見をぜひ私たちに聞かせてください。
どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。

※前回の様子は2～3ページに掲載しています。



三芳町議会公式
facebookページ

<https://www.facebook.com/miyoshimachigikai>



次の議会定例会は

3月1日（日）

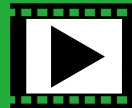


開会の予定です



皆様の傍聴を
お待ちしております

▶ 議会の動画を 配信しています。



議員の一般質問等の動画をインターネット動画配信サイトYouTube上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、下記URLにアクセスしてください。

三芳町議会 中継ページ

<https://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/gikai/gikai-chukei.html>

編集後記

12月定例会では、第5次総合計画後期基本計画及び都市計画マスタープランについての議案審査のために、特別委員会が設けられ、最終日には議案の撤回、再上程などもあり、終了時間が22時半を過ぎるといふ、期間も時間も長い定例会となりました。

上程された議案には旧清掃工場跡地の賃貸借や総合体育館とコピスみよしの指定管理者の決定、一般会計の補正予算の他、国民健康保険税の上限引き上げ、一般職員や町長を始めとした特別職の期末手当の引き上げなどについて審議されました。

町民の生活に関わる議案を審議する議会の様子を、これからも分かり易く「議会だより」でお伝えできればと思います。

今年もよろしくお願ひ致します。

議会広報広聴常任委員会 委員 吉村 淳

委員長 鈴木 洋

委員 本名 美津子

委員 吉村 伸介

委員 小松 三恵

委員 細田 善美

委員 林田 典子

委員 落合 信夫

委員 委員

声の議会だより：朗読ボランティア「けやき」の皆さんが朗読したものを三芳町議会ウェブサイトで見ることができます。